

iPS細胞由来ヒト腸管オルガノイドの 創薬支援事業モデルの構築と検証

課題番号：STSC20012

研究代表者：国立成育医療研究センター
部長 阿久津英憲

技術シーズ 既存のヒト結腸腺癌由来細胞(Caco-2)に比し、機能的・構造的にヒト正常腸管に近い疑似臓器モデルを確立しました。経口投与時の吸収性の評価など、創薬やサプリメント・食品の開発研究を生理的に近い条件で実施可能です。

顧客の課題

- 薬物やサプリの成分がちゃんと吸収されるかどうか、簡便に知りたい。
- Caco-2の結果が必ずしもヒトに投与した時と同じではない。
- 動物を使わないでヒトにおける吸収特性を評価できる方法はないか？

提供するプロダクトやサービス

より生理的な特性を持ったヒト腸管疑似臓器を生きたまま提供します。

- 筋肉・神経細胞があるので蠕動運動を行います。
- ヒトの腸管トランスポーターを有しています。
- 腸の代謝機能も有しています。

